

## 節電対策について

# 「もったいない!」の視線で見直そう

安全・環境対策室

3月11日に発生した「東日本大震災」に対し、「がんばろう!につぼん」の掛け声とともに世界中が、日本中が、復興への支援を惜しまない昨今です。さて、我々としては何が出来るのでしょうか?

色々あると思いますが身近なところから出来る小さな努力を考えて見ましょう。

そろそろ暑くなってきましたね。『クーラーガンガンきかしたる』そんなことしたらダメ!!!



【温度設定を確認しましょう!】

当社では、先月の6月6日に「エネルギー使用の合理化会議」を開催し、全社一丸としての取組みとして、様々な議論が繰り返され、「2011年夏の節電について」の基本合意がなされました。それぞれの部署でもう動き始めることと思います。

皆さん、知っていますか?

日本国中、今年の夏は

「節電目標15%」

### 本社商品センターでの節電取組み

本社は大きく分けて、「事務所部分」と商品を作る「工場部分」に分かれます。

「事務所部分」では、各企業が行っている「省エネ対策」と同様に節電対策が実施されています。やはり空調関係の消費電力をどのようにコントロールするかが鍵

となっています。事務所はなかり以前から「クールビズ」を導入していましたので、スムーズにエアコンの設定温度を<sup>28</sup>にする、空調コントロールが出来るそうです。照明関係でも業務に支障の無い範囲でスイッチオフです。もちろん、通路などは蛍光灯の間引きをしています。昼休みには、原則、事務所の照明や空調はオフにしています。現在、「誰にでもわかりやすく」の考えで、照明のスイッチ部分の近くにどのスイッチを切るのかを明示しています。 下図参照

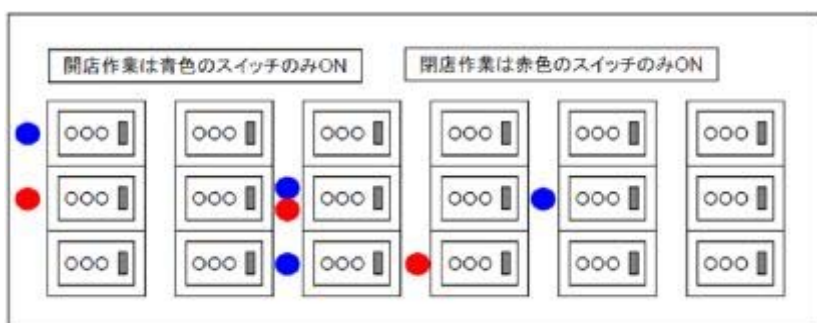
「工場部分」では unnecessary 部分の消灯はもとより、生産工程の改善で作業を集約的に行うなど、作業時間の短縮も図っています。

ポイントとしては、現場で省エネ推進ミーティングを実施し伝えることと、責任者を任命することで組織化し、「自主的な行動規範」を推し進めることだと思います。

地域別の電力需給について考

えてみると、節電の取組みや、求められる結果がもっとも厳しいのは、関東地区です。関東地区は震災の影響をまともに受けて「復興への険しい道」なればです。震災の物理的被害に加えて、消費電力の確保と言つ問題も、身近な事象として、まさに現在進行中でありま

### 【照明スイッチ イメージ】



関東電力管内では7月1日で「契約電力を15%削減」した特別料金制度が、施行される模様です。これにより「常時基本料金」が15%割安となりました。

この節電計画を受けて関東地区では店頭ポップによる「節電のご協力と節電対策」を掲示し、この夏を乗り切る施策といたしました。

関西電力管内の電力供給見込みについて、6月2日調べで、関西の福井県にある原発11基中4基が定期検査で停止し、7月末にはさらに2基が検査に入る予定です。

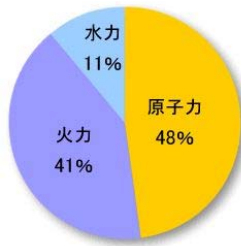
そして、福井県の知事は現状での再稼働は認められないと発言されています。

関西電力の現在の原子力依存度は53.6%（右の表はH22年3月の調査）で、これは日本の電力会社で最も高い数値です。このまま原発が再稼働できなければ関西の夏の供給計画3381万kWのうち約317万kWが供給できないと言つことにな

ります。関東以上の計画停電に追い込まれる可能性も否定できません。

6月12日に関西電力も15%節電要請を発表しました。東京電力のように強制力はありませんが、原発の今の状況を見ると節電せざるを得ない状況になると考えられることも否定できません。

【H22.3 関西電力の発電割合】



**店舗での節電取り組みについて**

さて、話は変わりますが、皆さんのお店に「店舗省エネ対策ガイド」という緑色のファイルが届いていますね。このガイドブックに店舗での「節電への取り組み」方法が記載されています。このガイドブックは、特別で大掛かりな省エネ対策

ではなく、簡単に実行できる省エネ対策をまとめたものです。最後のページには、皆さんが、省エネの取り組みを確認するために、「省エネチェックリスト」を掲載しています。

このガイドの表紙に記載していますが、無駄な電気を消費していないか「もったいない」の視線でもう一度見てみましょう。そして、「節電への取り組み」方法を、再度、店舗ミーティングやシフトミーティングで読みあわせをおこない店舗一丸となって、小さな無駄を無くすことから取り組んで下さい。

全社一丸となって、関西も中部も関東も「出来ること」をコツコツと実施し、今年の夏を省エネスタイルで乗り切りましょう。

今回、店舗で使われている電気の使用量の割合をグラフにして見ました。下図参照。一番目が空調系です。夏場はクーラーが不可欠とな

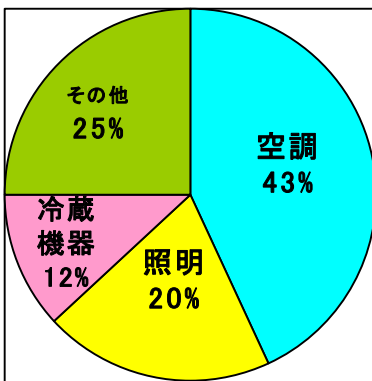
ります。特に昼間は最大になります。この部分を出来るだけコントロールすることで節電効果が大きくなります。

一番目の照明系は、急ピッチで「LED照明」に変更したおかげで、努力なしに省エネが進行しています。

三番目の冷蔵庫は不要な扉の開放や、フィルターの定期清掃で相当の効果が得られます。

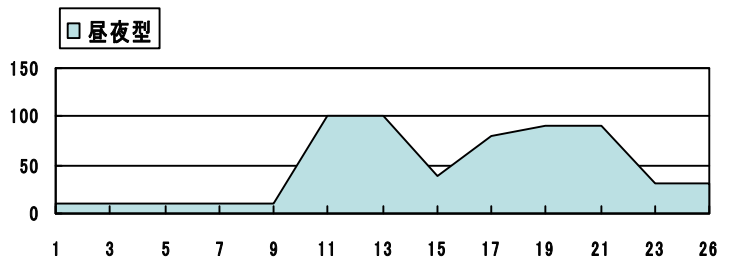
四番目のその他については、一〜三番目の機器設備以外の電気設備について、不要時にスイッチを切るなどがあります。

いずれも、店舗省エネガイドブックに記載の項目ばかりです。出来ることから遵守していきましょう。



**電力消費の内訳（ピーク時：13時前後）**

・電力消費のうち、空調が約43%、照明が約20%、厨房機器等（給湯・冷蔵庫・ショーケース等）で約12%を占めます。  
・これらを合わせると電力消費の約75%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。



# 「もったいない」の視線で見直そう

## 第二章「節電対策 家庭編」

安全・環境対策室

みなさん こんにちは！

「がんばろう！につぼん」の掛け声の下、この猛暑の中、日本中が頑張っています。その結果が「見える」電気予報なる電力の供給度合い予報が各電力会社から出されています。

今のところ皆さんの協力で関西でも関東でも若干の余裕がある模様です。原発運転再開が暗礁に乗り上げていく中、電力問題が解決するまで暫くの間「コツコツと」努力を継続する必要があります。

前回のチャレンジ通信では会社全体のハード面とソフト面の節電を中心に紹介しました。

今回は従業員の皆さんのご家庭での節電について紹介します。

**無理のある「節電」は継続できません！**

また、結果として効果の薄い節電に手間を掛けることも同様です。

無理な節電による、「身体の無理」もいけません！熱中症に注意して！安全第一です。

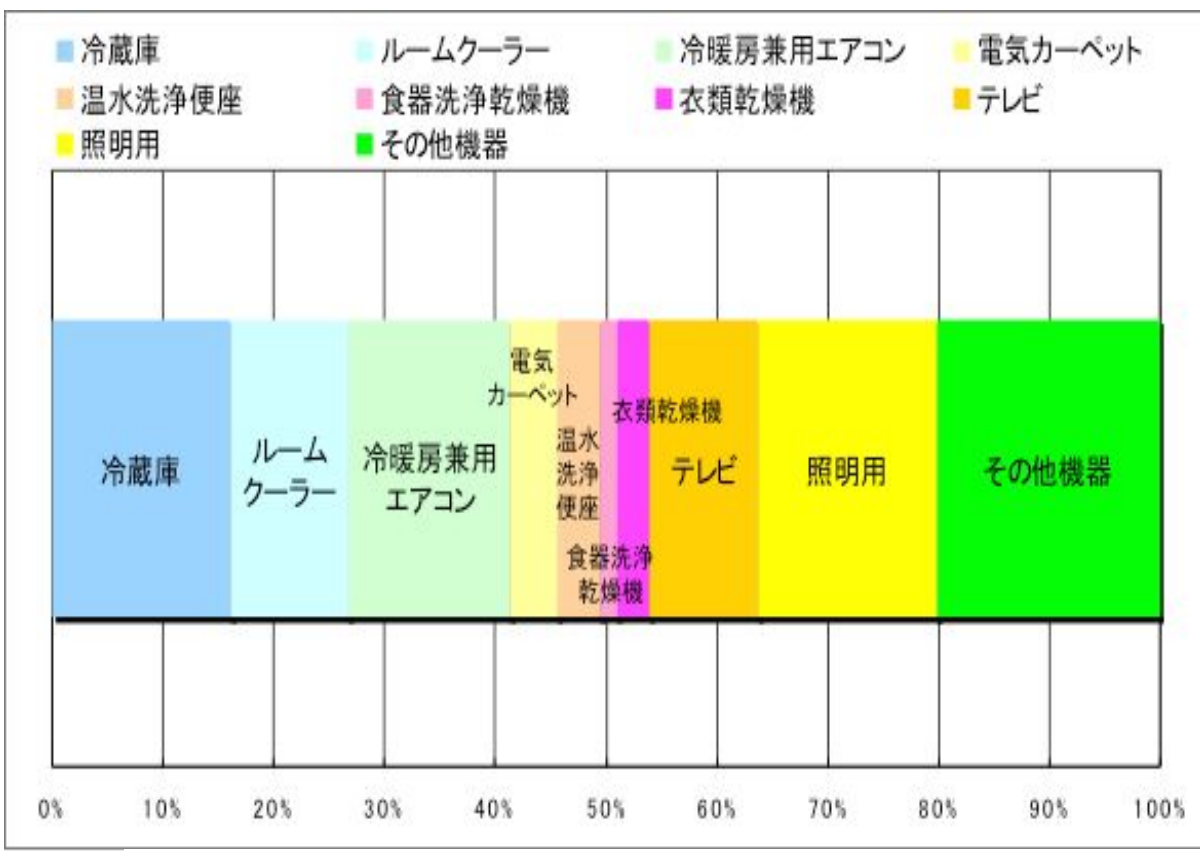
■ 身近にある様々な電化製品の節電効果を調べてみました。  
左の図をみますと冷蔵庫、冷暖房機器、照明、テレビなどが多いことが分かります。

この部分の「もったいない」をこまめに節電すると効果が高いものとなります。

その手助けが出来るよう今回のチャレンジ通信では

「家庭で出来る節電とその効果は」の表をつけております。それぞれの節電が節約にも

つながることがわかる仕組みになっています。「努力は報われる」です。





# 7月の節電効果のご報告

安全・環境対策室部長 箕裏 勝彦

皆さま「節電へのご協力ありがとうございました。・・・9月の部門長会で節電効果の報告をしました。

「日本国中今年の夏は節電目標15%」で始まった全国的な節電の夏でしたが、各地で節電の成果について、途中経過が発表されています。その中で、当社の節電の取り組み成果は、どうだったかについてご報告したいと思います。今回は「関西電力」から、関西電力管内における、各店別の詳細な削減効果について数値で経過報告を頂きました。今回の関西電力からいただいた報告では、「夏の節電目標 15%」に対して、使用量が前年同月対比 13.2%の節約となり、残念ながら目標を少し下回る結果となりました。

しかし、関西電力管内の外食産業100社、計1,700店舗の使用量の節電効果の平均値が、約4%ですから、当社店舗の使用

量節電効果は、業界平均値より3倍の効果が上がったということですが、この結果は、もう十分に合格点と言って良いと考えられます。

さて、気になる関西電力管内の店舗の電気料金は、使用量で48,900KWの減少が見込まれます。さらに、節電の取り組みは、電気料金のうち「基本料金」を決定する契約電力の算定根拠となるデマンド値（最大需要電力）を押し下げる効果となりました。（下記の電気料金の基本式・用語の説明を参照）

つまり、昨年と比べてデマンド値が減少した店舗は124店舗中107店舗、関西の店舗中86.3%という大半の店舗が、デマンド値を下げる事ができました。

このデマンド値の減少分は、「基本料金」の減額を生み、先述の電力量料金の節電効果と合わせて、電気料金の削減効果となりました。

また「関東・中部」の各電力所管内の詳細な数値報告もまもなく入手できますが、概算では部門とも相当量の使用量削減できていると聞いております。

この結果は、大きくは建築部によるLED照明の導入もありますが、皆さんのコツコツとした節電実施の努力の賜物と考えています。8月という電力需給の最大の山場は越えたようですが、まだまだ、発電エネルギー施策が混沌としている中、「節電」という取り組みは、9月以降も継続的なものとなる見込みです。7月からスタートしたばかりの「節電への取り組み」に今一度無駄がないか、取組みへの徹底が緩んでいないかについて再度チェックを行い、全ての店舗で目標をクリアーできるように努力しましょう。

これから季節の入れ替わりです。店舗の皆さんは、体調管理に留意して、力強い日々の営業をお願いいたします。

## ■電気料金の基本式（高圧受電契約の店舗）

$$\text{電気料金} = \text{基本料金} + \text{電力量料金} (+) \text{その他}$$

↑
↑
↑

①
②
③

### 【用語の説明】

#### 基本料金

毎月の最大需要電力を計量し、当月を含む過去一年間の最大電力が、契約電力として自動的に決定されます。この最大需要電力を最大デマンド値と呼び、これに料金単価を乗じたものです。

## 電力量料金

毎月、電力メーターにより検針される当月1ヶ月間の電気の使用量。契約内容により、季節や曜日、時間などで料金単価が異なります。

## その他

燃料調整単価などのことです。例えば、火力発電で使用する重油は為替や相場などで日々変動しています。その変動の波を一定期間で調整した単価を乗じたものです。プラスとマイナスがあるのは価格変動のプラスとマイナスに連動したものです。